



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2012年10月3日発行
向日市寺戸町辰巳4-1-101号
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

9月議会 報告特集

困っている人の声が届き、 真剣に耳を傾ける社会に



杉谷伸夫・57才
向日市議会議員・市民クラブ
上植野町イトーピア在住

向日市議会の9月定例会が終わりました。保育所の保護者から出されていた「第5保育所の耐震工事を急いで！」と「第3保育園の閉園を延期して！」との2件の請願を、議会は否決しました。私は、当事者の切実な声に、議会はもっと真剣に耳を傾けなければならないと思います。

9月30日、世界一危険な大型米軍輸送機「オスプレイ」が、普天間基地に、沖縄県の全市町村長・知事・全自治体の反対決議を押し切って強行配備されました。住民の切実な声がかここでも無視されました。

「助けて！」の声を、私たち皆の問題として受け止めることのできる社会にしてゆくため、これからも皆さんと一緒に頑張ります。

市民の皆さんからの声

9/8市民参加でまちをつくる会より

9月8日市民参加でまちをつくる会をしました。杉谷議員から、開会中の向日市議会9月定例会で取り上げられる問題と、私たちの懸案事項について報告の後、意見を出し合いました。

●障害者に対する配慮を

京都府の障害者運動会が、丹波自然公園でありましたが、車イスの人が多いの、トイレに行くのにも坂を登っていかないと行けません。障害者のレクリエーションは、本当に厳しい人も参加して楽しめるようなものにしてほしい。

●私道の排水路掃除へ市の支援を！

町内の排水路の掃除は、今は業者に委託してやってもらっている。かつては皆でやっていたが、高齢化等で、業者委託せざるを得ない。私道だか

らと言うけれど、公道とほとんど変わらない。排水路の清掃に市の支援はないのか。

・・・5万円を超える私道・側溝の整備は、市の補助対象(85%補助)ですが側溝の清掃は対象外です。

●議会の議場は改造すべき！

杉谷さんが議員になってから市議会の傍聴に行くようになりましたが、あの傍聴席は何とかしてください。傍聴席からは市長の姿しか見えず、議員の姿が全く見えません。傍聴席の真ん中はあけて、両側だけにしたら良い。そんなに費用も要らないと思うし、議会の休みの間に十分出来ます。議会で検討し、予算を取ってぜひ実施して下さい。

・・・議会改革の一環で取り上げたいと思います。

10/14 杉谷伸夫の議会報告会

●日時：10月14日(日)午前10時～12時

●場所：杉谷ひろば(向陽幼稚園斜め向かい)

※どなたも参加歓迎

(問合せ：090-8384-5984 杉谷)



連絡先

TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325

メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

9月議会報告

8月30日～9月25日まで開催された市議会定例会では、決算が認定された他、以下の問題が焦点になりました。

① 2億円損失問題の真相解明しないまま、決算を認定

下水道工事トラブルでの2億円損失問題の真相究明を求める多くの市民の声にも関わらず、市長はその鍵を握る弁護士の「報告書」を「捨てた」として、幕引きを図りました。今年になって「捨てた」はずの5つの報告書のうち2つが暴露されましたが、市長とそれをかばう議会多数派議員によって、それ以上の究明ができません。市民に2億円の損害をかけ、その真相を闇に葬る政治姿勢を認めることはできないため、私は昨年度の決算認定に反対しました。

② 保育所の保護者からの切実な請願2件を、何と否決！

この議会には、下表のように市民から4つの

請願が提出され、私は「阪急洛西口駅東地区の都市計画（変更）案についての請願」の採決を棄権した他は、他の3つの請願に賛成しました。

中でも、この4月に開園する新民間保育所をめぐっては、施設の安全面その他で保護者から設計見直しを求める切実な請願が寄せられましたが、9：10の僅差で否決されました。しかし新しい保育所は、これからの向日市の子どもたちが半世紀にわたって利用する重要な施設です。できる限り不安を取り除き、保護者の声を反映することが必要だと考えます。

また、第5保育所の早急な耐震工事を求める請願も9：10で否決されてしまいました。保護者の当然の思いを、なぜ否決するのでしょうか。このような議決結果は本当に残念です。

③ 「大飯原発止めて」「沖縄に危険な米軍機配備するな」一平和・安全の願いを否決！

議員から、計8本の政府に対する意見書案が出されましたが「大飯原発止めて」「沖縄に危険な米軍機配備するな」の意見書案が、9：10で否決されました。「原発ゼロ」の大多数の市民の願い、「基地押しつけはゴメン」の全沖縄県民の願いと反する結果を皆さんどう思いますか？

向日市議会 2012年9月定例会 各議案に対する各議員の態度一覧

★賛否の分かれた議案…○：可決・認定・採択 ×：否決・不採択

(○：賛成、×：反対、△：退席)

採決結果	会派	共産党					新政クラブ					公明党			市民クラブ		無会派					
		議員名	松山	常盤	丹野	北林	和田	山田	天野	新矢	小野	西川	永井	辻山	長尾	富安	石原	杉谷	飛鳥井	中村	磯野	太田
○	条例改正：向日市税条例の改正（市民税均等割を500円アップ）		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	
○	決算認定：一般会計決算		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	
○	国民健康保険特別会計決算		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長につき採決に加わらず	○	○	○	×	×	○	○	○	
○	後期高齢者医療特別会計決算		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	
○	介護保険事業特別会計決算		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	
○	下水道事業特別会計決算		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	
○	水道事業会計決算		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	
×	請願：洛西口駅東地区の都市計画案についての請願		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×			×	×	×	△	△	×	×	×
×	第5保育所の早急な耐震工事を求める請願		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×			×	×	×	○	○	×	×	○
×	新園の設計見直しと第3保育所の閉園延期を求める請願		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×			×	×	×	○	○	×	×	○
○	意見書：香港民間団体の領海侵入・尖閣不法上陸に関する意見書		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○			○	○	○	×	×	×	○	○
○	李明博大統領の言動抗議、対韓外交見直しを求める意見書		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○			○	○	○	×	×	×	○	○
×	オスプレイ配備撤回と国内飛行訓練の中止を求める意見書		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	○	
×	大飯原発の再稼働を中止することを求める意見書		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	○	

★全会一致で可決・認定・採択された議案

- ◎補正予算……………一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計
- ◎特別会計決算…寺戸財産区特別会計決算、物集女財産区特別会計決算
- ◎規約の変更…………乙福の事務・組合規約の変更
- ◎請願……………向日市の歴史的文化的財と景観を守る請願
- ◎意見書……………自治体の防災・減災事業への国の財政支援を求める意見書
中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書
改正貸金業法の堅持、多重債務対策強化を求める意見書
「森林・林業再生プラン」の具体的施策推進を求める意見書

杉谷伸夫の 議会論戦

1. 大飯原発の停止を求めよ

一市：「国において対応すべき」

Q：大飯原発は、直下型地震が起これば大事故になる可能性が高い。万一の事故の場合、向日市民を守る対策はあるのか？

A：国や京都府の計画が出されたら、それに基づき計画を立てる。

Q：国や府の計画を待たなくても、できることがある。たとえば大事故の際、ヨウ素剤が必要となるが、向日市には有るのか？

A：無い。

Q：被害地元住民を守る責務として、市長は大飯原発の停止を求めるべきではないか？

A：国の責任において対応すべきだ。

2. 洛西口駅東側の都市計画は市民にしっかり説明を

一市：「頂いた意見をしっかり検証する」

Q：洛西口駅東側をどんなまち並みにしていくか、行政と住民の間で共有されていない。建物の高さ制限を60mや30mにするなどということは、この前初めて聞いた。

杉谷伸夫の活動日誌（9月）

- 9月1日(土)うつくしま☆ふくしまin京都茶話会
- 2日(日)京都府防災訓練（淀川河川敷公園）
- 7日(金)向日市決算に関する勉強会
- 8日(土)市民参加でまちをつくる会例会
- 9日(日)京都・市民放射能測定所ミーティング
- 10日(月)向日市議会本会議・一般質問を行う
- 11日(火)向日市議会本会議
- 13日(木)向日市立中学校の体育大会を見学
- 14日(金)向日市議会・厚生文教常任委員会
- 18日(火)向日市敬老会に出席
- 19日(水)向日市議会・建設産業常任委員会
- 20日(木)向日市議会・総務常任委員会
- 21日(金)向日市議会・議会活性化特別委員会
- 22日(土)向日市防災訓練（第3向陽小学校）
- 23日(日)京都・市民放射能測定所担当
- 25日(火)向日市議会・本会議最終日
- 29日(土)向日市立小学校の体育大会を見学
原発被災者支援法に基く施策を求める集い

将来に問題を残さないよう、今後の都市計画作成の進め方の検討を求める。

A：いただいた意見を都市計画審議会に報告し、しっかり検証して、計画案として再度市民に提示したい。

3. 教育委員会の情報公開の姿勢を問う

一市：「今後適切に行なう。他市の状況を調査し研究する」

Q：大津市のいじめ自殺問題では、教育委員会の情報隠しが問題になっている。向日市でも、教育委員会の議事録が長期間公開されない、傍聴者が1年間ゼロ、市民の権利に関わる要綱などが非公開である等「市民に開かれた教育委員会」とはいえない様々な問題があるのではないかと？

A：教育委員会の日程の告示、議事録の公開は、今後適切に行うように努める。要綱等の公表は、今後他市の状況を調査して研究する。

議会改革は一進一退

●議会報告会…来年5月から開催へ

議会報告会を来年5月に開催することを確認し、その実施にむけた具体的な基準作りの作業に取りかかることになりました。今後の焦点は、その内容になります。私は、できるだけ市民の皆さんと議員が自由に意見交換できるような内容にしたいと思っています。

●議会のインターネット配信…「向日市民皆が見ている」中で議会の議論を！

インターネットによる議会の生中継・録画配信は、一歩後退の気配です。議会活性化特別委員会では、「議会の改革をしてからにしよう」「一度にいろんなことをやるのは困難」など、後ろ向きの意見が出ています。私は、今のありのままの議会を市民の皆さんに見ていただくことが大切だと思います。「向日市民が、いや世界中の人が見ている」という緊張感があってこそ、それに耐える議会にしようとして改革が進むし、真剣な議論ができると思います。

「原発被災者支援法に基づく支援を！」講演会開催

佐藤 和利

9月29日、京都市内で「原発被災者支援法に基づく具体的支援の実施を求めよう」を開催し避難者15家族を含む60数人が参加しました。

京都には府が把握しているだけで福島県の583人をはじめ被災地から827人が避難してきています。その多くが福島原発事故による避難者ですが、政府が定めた避難区域外の避難者には、放射能災害に対する支援は一切ありません。原発被災者支援法は、一定以上の放射線被曝をする地域の人々すべてに、国が責任を持って支援することを定めた画期的なものです。この法律は超党派の議員立法で6月に成立しましたが、中心になって尽力された谷岡郁子参院議員（みどりの風）の講演のあと、避難者の声を聞きました。年内に京都に厚生労働省の担当部署を呼び、避難者の声を聞く公聴会が開催できるよう取り組んでいきたい。（佐藤）

講演より「福島原発事故以降、国はこれまで一般人の立ち入りを厳格に禁止していた放射線量の地域も、『人が住んで大丈夫、子どもも大丈夫』と根拠無く基準を20倍も高く変更し、そこに

住む人々への保障を一切しないことにしました。25年前のチェルノブイリ原発事故では、旧ソ連政府はそうした地域の人々は移住させ、土地や仕事を保障したのです。今の日本がやっていることは、四半世紀前の旧ソ連以下なのです。

放射線は、セシウムだけを考えてガンマ線しか測っていません。ストロンチウムなど他にも危険な放射性物質が多数ありますが無視しています。骨に蓄積し、大きな健康被害が出ないか心配です。」

避難者の発言より

- 住むところの不安が大きい。家賃を払えなくなると福島に帰らざるをえないのかな。フワフワと地に足が着かないような状態です。
- 1歳の子どもと母子避難してきました。小さい子どもを抱えてできる仕事は限られています。その中でもできる仕事など具体的な支援を望む。この法律を一日でも早く咲かせてほしい。
- 3人の小さい子どもと母子避難している。夫は仕事を辞められないので福島にいる。祖父母が『早く孫を連れて帰って来い』という。上の4歳の子ども『お父さんに会いたい』と。放射能汚染地に住むすべての人の保養、雇用や避難者のケアなど、被災者支援の総合的な機関ができればと思う。

連載 ポイント解説 向日市の歴史

鈴木 健弘

第13回 長岡（4）

平城京から長岡京を新しく遷都の目標としたものは何だったのだろうか。70余年の間に、とにもかくにも過去には無かった長期の都が、国の中心として成立、そして成長しつつ歩んで来た時間、そこには行政、文化、宗教等の着実な進展をみつ、庶民の日常に至るまでそれなりの新しい大和の歴史が刻まれて行く。遷都の大きな動機は、仏教の大きな力の台頭にありと推察されている。現在のイスラム教と比較するのは無理としても、宗教の力は決しておろそかには出来ない。政教分離は為政者にとって、国によってそれなりの長短を交えて今も宿題であろうか。

大和から離れ、仏教の強い干渉を避けるために、長岡を選んだ真意は不明だが、これに代わる候補地は多数あった筈。それなりの迂余曲折が繰り返され、この長岡を知るメンバーの強い進言があったものと推察される。つまりそこに新しく都を創るという極めて難しく諸般の技術をふくむ賢明な判断と試練が待っている。これを克服するための思慮と覚悟が厳しかったことが今も推察できる。

事実、延暦3年（784）11月、5カ月の工期で遷都された桓武天皇は、4年経っても宮室が完成せず、その3年後も平城宮の門を運ばせるなど、在都10年の殆どが造営に費やされている。延暦4年8月に、太秦公忌寸宅守（おおはたのきみいみきやかもり）が太政官院の垣を築いた功勞で、叙勲されたことは、同時に長岡宮に築地を設け垣を回らすなどの作業をはじめ、人々の労役に頼り資材に悩む結果は『続日本記』示すところであるが、財政的な厳しさも含め出発時点で遭遇する予測を考えると、遷都が如何に勇気のいる選択であったことが想像にしくはない。それには遷都の翌年（785）暗殺された遷都主唱者藤原種継の並々ならぬ準備の苦勞が今も偲ばれる。